

さしま郷土館ミューズ



坂東市立猿島資料館 〒306-0502 茨城県坂東市山2726 TEL 0280-88-8700 0297-44-0055



# 越鄉鲜田物語

水との苦闘300年 豊作を夢見た先人達

俗に「飯沼三千町歩」と称される広大な水田地帯。坂東市、常総市、古河市、八千代町の三市一町にまたがるこの美田は、その昔は「飯沼」と呼ばれた茫洋たる沼でした。

江戸時代の享保年間に干拓・開発され、一大穀倉地帯に生まれ変わったものの、構造的な排水不良や利根川の河床上昇による逆水の流入は如何ともしがたく、以後も大雨時の水害は絶えることはありませんでした。飯沼新田の歴史は、長年に亘る水との闘いの歴史でもあったのです。

このたびの企画展「飯沼新田物語 水との苦闘300年 豊作を夢見た先人たち」は、技術的にも資金的にも克服困難であるとされた課題に敢然と立ち向かい、様々な改良事業の実現に心血を注いで来た先人たちの苦闘の歴史を紹介するものです。

本展覧会を通して、郷土の誇るべき歴史遺産でもある飯沼新田の存在意義を再認識していただければ幸いです。

飯沼新田開発起請文血判状 飯沼廻り村々の名主・組頭144名の血判連印のある 起請文。村人たちはこれを沓掛香取神社神前に捧げ て干拓の成就を誓った。



代官・岸本武太夫父子の善政を讃えて建立された 『岸本君二世功徳碑』(沓掛・藤岡稲荷神社)



上:利根川からの逆水防止のために設置 された反町閘門

右:毎年のように飯沼新田を襲った水害



# ≪展示構成≫

## (1) 享保の飯沼新田開発

飯沼周辺23ヶ村の願いから始まった新田開発は、幕臣・井澤弥惣兵衛の指導の下、用水 路の開削と干拓をおこない完成を見た。空前の干拓事業に奔走した村々や入植農民たちの 苦闘を紹介します。

#### (2) 荒廃する農村と名代官・岸本武太夫父子

荒廃した飯沼新田の復興政策に取り組んだ代官・岸本武太夫父子。その善政を讃えて建立された『岸本君二世功徳碑』から、領民に慕われた名代官の生涯と事績を紹介します。

### (3) 飯沼新田と水害

飯沼新田地域は、近代技術が導入され排水設備が完成するまで度々の洪水被害に見舞われた。飯沼新田を襲った洪水被害と復興、河川改修など明治以降の改良事業を紹介します。

